事例No.	2071
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	宮崎県西米良村

事例区分	DX

タグ	・人材確保・育成 ・（行政改革）業務の効率化 ・ICT

事例種類	農林水産業

事例内容・タイトル

デジタル技術を活用し、生産者のやる気を地域で支援

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

91 デジタル技術を活用し、生産者のやる気を地域で支援【宮崎県西米良村】

事業の概要

○　西米良村では、カラーピーマンを栽培する若手生産者から村に対し、質の良いカラーピーマン作りに関する相談があったことから、村、生産者、JA、県、民間事業者によるコンソーシアムを構成し、生産性・品質向上に向けた取組を進めている。

○　良質なカラーピーマンができる要因を分析するため、ハウス内に環境モニタリング設備を導入し、ハウス内の温度、湿度等をリアルタイムで測定している。また、計測された情報は、生産者のスマートフォンのアプリから確認することができる。

○　村は、複数の生産者のデータを比較し、村全体のカラーピーマン作りの質を高め、生産者の熱意をバックアップしていくこととしている 。





【参考情報】 人口：0.1万人
関連URL：　－

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



（総務省）　取組の経緯・きっかけを教えてください。



（西米良村）　「篤農家（安定高収量農家）の栽培技術やハウス内の環境データの共有を行うことが、産地全体の所得向上・活性化につながるのではないか」という、次世代を担う若手生産者グループの自主的な学び・気づきを支援するため、この事業に取り組みました。



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



デジタル技術を活用した、作業労力の軽減や効率性を検証するため、宮崎県の「スマート農業による働き方改革産地実証事業」に応募し、モニタリング設備等を導入しました。



生産者の反応（声）はいかがですか？



これまではハウス内の温湿度管理のために、定期的にハウスに足を運び、温湿度計を直接確認しながらハウスの開閉やかん水等の作業を行っていましたが、設備導入後はいつでもリアルタイムに確認することができるようになったことで、「労働時間の削減・省力化につながった」との反応や「今後は蓄積されたデータを分析し、より質の高いカラーピーマンを生産していきたい」という、意欲的な声が聞かれました。

★担当：西米良村農林振興課★

令和3年度事業費　1,455千円